



コロナに負けずに地域の名所を鑑賞！ ～第5回日新ミソハギ花まつり(主催:まちづくり日新実行委員会)～

8月7日(土)午後3時より開催されました。「ミソハギ花まつり」は、咲き誇るミソハギを地域の多くの方々に実際に見ていただくことにより、底喰川環境美化活動の素晴らしさや大切さを広め、活動の継続発展をねらいとして実施しているものです。今年度も昨年同様三密を避けるため、三々五々「受付をして鑑賞ラリー」、終了ごとに「ガラボン抽選」としました。参加者は、114名(一般参加者90名、スタッフ24名)でした。離れた台風の影響で、北風が適度な強さで吹き、比較的過ごしやすかったです。

今年度の新しい取り組みは、①まつりの数日前に、ミソハギの様子をドローンで撮影したこと、②「芝原を美しくする会推進協議会*」や底喰川を管理する「福井県土木事務所」、まちづくり活動を所管する「福井市まち未来創造課」の関係者にも参加の呼びかけを行ったことです。①については、公民館まつり、学習会などで上映予定です。②については、清水智信県議会議員(芝原の会中藤島地区委員)はじめ延べ7名のご参加があり、地区民以外の方々にも知っていただく良い機会となりました。

数回の打合せ会議、細かい事前の準備、当日の作業等、様々な活動を担ってくださったまちづくり実行委員会の皆様、本当にご苦労様でした。

※「芝原を美しくする会推進協議会」:芝原用水を美しくすることを用水沿線住民に喚起することを目的に昭和47年に設立。現在、東藤島、啓蒙、松本、日之出、宝永、順化、春山、東安居、湊、西藤島、日新、中藤島、円山、明新の14地区が加入。今年度会員数72名。川を血管に例えると、山から流れてきた水が流れる芝原用水は“動脈”、それを田んぼで使用した水が流れる底喰川は“静脈”として、“日新の静脈の美化活動”も広く知っていただくことを願って参加を呼びかけた。



【写真説明】①上段左:直前の7月29日の大雨でミソハギがどっぴりと泥水の下に。②上段中:まつり当日、泥水に負けずに咲き誇るミソハギ ③上段右:密を避け三々五々受付、抽選機も1回ごとに消毒 ④中段:鑑賞ラリー。ミソハギを見ながらコースを1周 ⑤下段2枚:ドローンによる撮影動画より



紙芝居「福井弁 底喰川の大蛇」を各子ども施設で上演！

いきいきライフセミナーが、令和元年から2年をかけて完成させた紙芝居「福井弁 底喰川の大蛇」を下各所で上演し、またそれぞれに紙芝居の贈呈も行いました。



【写真説明】

上段左:6月4日(金)花園幼稚園にて、年長さんと年中さんに

上演後、紙芝居をプレゼント



上段右:6月23日(水)ひまわり児童館にて 下段左:7月14日(水)日新小にて。三密を避けるため、放送室から各教室にテレビを使って 下段右:7月30日(金)日新児童クラブにて

【子どもたちの感想の一部(抜粋)】1年生:そこばみがわにはむかしだいじゃがいたとわかりました。おおあめがふると、そこばみがわはいつもあふれてみんなこまっていたそうです。きれいなおんなのひとがだいじゃだったのがびっくりしました。いまはそこばみがわは、しずかなのでよかったとおもいました。

4年生:3年生のころのそう合でげきをして、それとにていておもしろかったです。福井弁は最初「〇〇しね。」という言葉しか知らなかったけれど、他にもたくさん聞けて楽しかったし、すこしおもしろかったです。

6年生:私は、この紙芝居を見て、2年もかけてこんなお話を作るなんてすごいなと思いました。そしてこんなお話を聞かせてくださってとてもありがたいことだと思いました。私は福井に12年間ほど住んでいますが、福井弁はこんなしゃべり方なんだとわかりました。福井の昔にはこんなエピソードがあったこともわかりうれしいです。これからも住む福井なので、しっかり覚えておきたいなと思います。

日新の人口推移(令和3年8月1日現在)

男 2,752人(+1) 世帯数 2,536(±0)
女 2,794人(-7) 高齢化率 28.04%
計 5,546人(-6) 後期高齢化率 14.48%

日新地区犯罪発生状況

福井警察署令和3年7月末統計(今年の累計)
・空き巣…0件 ・車上狙い…0件
・自転車盗…8件 ・オートバイ盗…0件
・その他窃盗…0件 ・器物損壊…2件
・その他刑法犯…3件 ●地区内合計…13件

日	曜日	祝日及び 休館日	令和3年10月の主な活動予定	
1	金			
2	土			
3	日			
4	月	休館日		
5	火		10:10 ~	10:50 図書室整理 (図書室ボランティア)
6	水			
7	木		10:30 13:30 ~	12:00 15:00 歴史講演会 (午前の部) 同上 (午後の部) (参加者多数の時のみ) 主催: 健友会 共催: シルバー大学
8	金			
9	土			
10	日			公民館まつり団体パネル準備期間開始 (大会議室貸館中止10月24日まで)
11	月	休館日		
12	火			
13	水			
14	木			
15	金			
16	土		9:00 13:30 ~	12:00 17:00 公民館まつり団体パネル準備期間終了 公民館まつり前日準備
17	日			公民館まつり期間開始 (全館貸館中止10月24日まで)
18	月	休館日		
19	火			
20	水			
21	木			
22	金			
23	土			公民館まつり期間終了
24	日		8:00 9:30 ~	9:00 11:30 定例清掃 まちづくり環境部会企画推進会議 公民館まつり抽選会
25	月	休館日		
26	火			
27	水			
28	木		10:00 ~	12:00 さんさん映画会 (まちづくり交通部)
29	金		10:00 ~	12:00 マイナンバーカード出張申請受付
30	土			
31	日			

この他に 日新ボラネットの活動として以下のものがあります。

- ・地区各種事業記録写真・・・松井良忠氏
 - ・児童館のおはなし会、読み聞かせ
(毎月1回 基本水曜の午後4時から)
 - ・底喰川高水敷清掃・・・まちづくり実行委員会有志他
- ※パネル写真(館内掲示)の提供・・・田中和昭氏(八ツ島町)

【日新デイホームの案内】(社会福祉協議会)

八ツ島会館 10月13日(水) 9:30より受付開始
 日新公民館 10月27日(水) 13:00より受付開始
 乾徳ふれあい会館 10月19日(火) 13:00より受付開始
 乾徳ふれあい会館 10月20日(水) 13:00より受付開始

日新公民館のLINEのQRコードです。
 いろんな情報を発信してまいります。
 ご登録お願いいたします。



個性豊かな力作が！ ※絵の描き方講座 ぱれっとサークル (家庭教育事業)

岩堀葉氏を講師に、7月21日(水)、24日(土)、26日(月)、28日(水)の4日間にわたり岩堀アトリエで実施されました。参加人数は延べ31人でした。右の写真は創作風景、下は力作の一部。



環境学習のお手伝い

7月1日(木)午後1時50分より、まちづくり環境部会が、日新小学校5年生の環境学習の外部講師として出前授業を行いました(児童数54名、先生4名、スタッフ3名)。高橋定信部会長がパワーポイントを使って底喰川の清掃美化活動の経過と現状と課題についてお話ししました。子どもたちが知らなかったことも多くあったようで、説明後の質問も活発にしました。



【児童の感想】(抜粋) 私は今日底喰川の知られざる過去を詳しく知る事が出来ました。なんとなく「汚れていた」という知識は持っていたけれど田んぼで使った水が流れてくることを初めて知りました。美化活動をして、よりよい日新地区にしていったんだなと思い、感心しました。20年間、協力して昔とは全然変わったことが伝わってきました。「日新のじまん」であるミソハギを大切に守り続けていきたいです。また8月に行われるミソハギ花まつりに行ったことがないので、今日話を聞いて行ってみたいと思いました。

展示作品募集中です！

～第42回日新公民館まつり～

公民館まつりは、地域の皆様方の発表、交流と親睦を深める場です。ぜひご応募ください。

- 1対象者 日新地区民
- 2応募期間 9月10日(金)～10月15日(金)
- 3応募先 日新公民館(チラシの出展票を貼って)
- 4応募数 1人2点まで
- 5作品展 10月17日(日)～10月23日(土)

「マイナンバーカード出張申請受付」のお知らせ

- ・日 時 令和3年10月29日(金)
 - ・時 間 10時から12時まで
 - ・場 所 日新公民館1階大会議室
 - ・問い合わせ先 福井市役所 市民課(20-5736)
- ※福井県内で「緊急事態宣言」発出中は、中止となります。

日新の四季 「積雲」

撮影日 R3.7.31
 場 所 藤島中前より
 南方面
 撮影者 松井良忠氏



【編集後記】▼今回は子どもたちの記事が多くなりました。ちなみに6月に日新小学校で授業参観させていただく機会がありました。下は、各教室を5分くらいずつ見て回った時、家族関係を取り上げていて、特に心に残った掲示作品です。

- ① 5年生男子の俳句。カブトムシをいくつも描いた短冊に「虫の世話 はじめてわかる 親心」
- ② 6年生女子の短歌「たのしみは 祖母といっしょに 列々の本の内容 語り合う時」
- ③ 6年生女子の短歌「たのしみは 一息ついた 夜八時 米とぎ『何令?』母に聞く時」

①は小5の男の子らしい感じ方が、②はお婆ちゃんと孫が世代を超えてお互いが好きな本について語り合っているというかけがえない関係が、③は米とぎというお手伝いを楽しんでいるとともに家族の一員として役に立っているという誇りが、それぞれの成長段階らしくよく表現されている作品だと感じました。どんな心根の子どもたち育てるべきか、子育てをするときに何を大切にしないといけないのかを再認識させられた作品でした。

▼本紙はカラー化のためネット印刷にしております。低価格ですが10日弱かかり、直前の出来事は掲載できないことをご理解ください。用紙が厚すぎるとのご意見もありますが、一番廉価な物を選んでいますのでご了承お願いいたします。